

学校長殿  
担当教員殿

日本高校生パラメンタリーディベート連盟

**第11回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯  
HPDU Competition 2022 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ) 実施要領**

新型コロナウイルス感染予防対策などの状況に応じ、今後変更する可能性があります。

共同主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟(HPDU of Japan)

一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)

後援(申請予定)：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)

：ブリティッシュ・カウンシル (British Council)

カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)

iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc.)

株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)

キヤノン株式会社 (CANON INC.)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (Canon Marketing Japan Inc.)

ANA ホールディングス株式会社 (ANA HOLDINGS INC.)

メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協力：株式会社アルク(ALC PRESS INC.)

イーエムティー株式会社(Energy Management Technologies KK)

エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc)

株式会社E d u L a b (EduLab, Inc.)

株式会社オールアバウト (All About, Inc.)

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)

## 1 趣 旨

全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

## 2 日時・場所

- 1) 都道府県大会 2022年1月4日(火)～2月11日(金・祝) 場所は各地域で決定し実施する。
- 2) 全国大会予選および決勝トーナメント(8チーム)とトーナメント2(ベスト9～16)  
期間:2022年3月25日(金)午後\*詳細は2022年2月17日以降に発表～27日(日)17:00  
会場:オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
※ただし、新型コロナウイルスの状況によっては、第10回大会同様オンラインで実施する。

## 3 内容

World Schools Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの)による英語ディベート大会 1チーム3名、予選4試合(2、3、4試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位8チームを決め、決勝トーナメント

## 4 参加資格

日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加して出場権を獲得した者、または本連盟より特別に出場権を与えられた者(同一都道府県内の上場希望校が1校であった場合など)。同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

### ※都道府県大会開催のお願い

上記のように HPDU 杯全国大会は都道府県大会参加が条件となっています。そのため各都道府県で HPDU 公認の大会を開催していただく必要があります。本連盟のホームページ上「都道府県大会開催について」内《連盟杯都道府県大会としての認定条件》の3をご覧くださいと、「HPDU 杯都道府県大会開催申請フォーム」があります。11月8日(月)に本年度版の申請フォームを記載いたしますので、そちらから公認申請をして頂けますよう、お願い申し上げます

また、今年度の都道府県大会開催に際して、例年の認定条件の他に、新型コロナウイルス拡散防止対策として以下の条件を加えたいと思います。ご理解とご協力の程、お願いいたします。

#### 《コロナ禍における都道府県大会開催について》

今年度の大会は、オンライン上で行なうか、新型コロナウイルス拡散防止対策を十分に行なった上で実施してください。対面による大会を開催する際は、本要領の「12 新型コロナウイルス対策に関するお願い」を参考にしてください。

## 5 参加費

宿泊なしの場合:1チームにつき4,000円(登録チーム確定後に振込)

宿泊ありの場合:1チームにつき13,000円(選手と引率者の宿泊費二泊分を含む。食事は付きません)

※新型コロナウイルス感染予防のため宿泊は集合時間に間に合わないチームのみとする予定です。

## 6 参加申し込み方法

以下の URL の Google 全国大会プレエントリーフォー for HPDU 2022 にアクセスして登録を行って下さい。

<https://forms.gle/UUkGbgwqXRxJzGvz5>

上記のアドレスを貼り付けて、フォームを開いてください。

※プレエントリーは各都道府県大会の開催を HPDU 杯参加希望校にお伝えするため、また HPDU 杯に参加を希望する学校があるのに大会の開催が決まっていない都道府県を確認して大会を開催してもらうために行うものです。さらに同一都道府県内に他校のエントリーがなかった場合は、その一校がそのまま都道府県の代表となるので、プレエントリーは非常に重要です。最終登録までの手続きについては、この募集要項の最後に「第 11 回 HPDU 杯登録手順」を載せてありますので、ご確認ください。

何かご質問等ありましたら [hpduofjapan@gmail.com](mailto:hpduofjapan@gmail.com) へお問い合わせください。

## 7 参加申込締切

① プレエントリー：2021年12月15日（水）19時まで

② 都道府県大会開催登録：各都道府県大会開催責任者が決定し、都道府県大会実施要項に記載。※都道府県大会開催責任者の方は、本要領の最終ページに掲載した「都道府県大会開催スケジュール」をご覧ください、大会エントリー締切日を決定してください。

## 8 大会の日程（10/26現在のもの。今後の状況により変更の可能性あり）

第1日目 開会式およびモデルディベート（詳細は2022年2月17日以降に発表します）

第2日目 予選

8:50 集合、受け付け

9:00 開会式

9:30 第1試合 対戦表・論題発表（準備時間 20分）

9:55 第1試合（約 50分）

10:45 ジャッジによる勝敗の説明（30分）

11:25 第2試合 対戦表・論題発表（準備時間 20分）

11:55 第2試合（約 50分）

12:45 ジャッジによる勝敗の説明（30分）

13:15 昼食（持参してください）

13:50 第3試合 対戦表・論題発表（準備時間 20分）

14:15 第3試合（約 50分）

15:05 ジャッジによる勝敗の説明（30分）

15:45 第4試合 対戦表・論題発表（準備時間 20分）

16:15 第4試合（約 50分）

17:05 ジャッジによる勝敗の発表なしのアドバイス（20分）

17:25 解散（結果発表は SNS で行います）

第3日目 決勝トーナメント、トーナメント2（ベスト9～16のチームによるトーナメント）

9:00 集合、点呼

9:30 準々決勝 対戦表・論題発表（準備時間 25分）

10:00 準々決勝 試合開始

11:05 準決勝 対戦表・論題発表（準備時間 25分）

11:40 準決勝 試合開始

12:20 昼食（持参してください）

13:00 決勝 対戦表・論題発表（準備時間 25分）

13:30 決勝 試合開始

15:00 閉会式

15:30 解散

## 9 試合形式

### [対戦組み合わせについて]

第1 試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決める。予選 2 ～ 4 試合目はパワーペアリングによって決める。予選 4 試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカースコアの総得点で、予選の順位を決定する。上位 8 チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に 1～8 の番号を振り、以下の通りで対戦を行う。トーナメント 2 の対戦組み合わせもこれと同様に行う。

準々決勝 A : team 1 対 team 8      準々決勝 B : team 2 対 team 7

準々決勝 C : team 3 対 team 6      準々決勝 D : team 4 対 team 5

### [試合開始前の準備時間について]

論題は、予選では試合開始の 20 分前に発表される。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外の人との相談は禁止とする（顧問との相談も禁止）。

決勝トーナメントでは、準備時間は 25 分とする。高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は禁止する。

### [スピーチの順番および時間]

試合の流れ 準備時間 第一日目 20分、第二日目 25分

- 1) 1st Affirmative Speaker 【5 分】
- 2) 1st Negative Speaker 【5 分】
- 3) 2nd Affirmative Speaker 【5 分】
- 4) 2nd Negative Speaker 【5 分】
- 5) Government Whip 【5 分】
- 6) Opposition Whip 【5 分】
- 7) Opposition Reply 【4 分】
- 8) Government Reply 【4 分】

\*決勝のみ Constructive Speech を各 7 分とします。

最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)の時間は各 5 分間、ただし決勝ラウンドのみ各 7 分間。Reply Speech は 4 分間。各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間（決勝戦のみ 1 分間）を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information（質問、反論、コメント）を行うことができ、Point of Information がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒間話すことができる。

Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行い、Whip Speaker が Reply Speech を行うことはできない。

### [スピーカーの役割]

- ・各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に必要な反論をする。
- ・3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の立て直し、及び論点の整理を行うを行う。より詳しいやり方については、HPDU のホームページの「参考資料」内「Whip を極める」を参考にしてください。
- ・Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行う。

## 10 評価方法

### 【勝敗について】

・各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められる。

・ **Constructive Speech** では、右の表で示すとおり、**75** を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点を与えられ、

**Reply speech** では、**37.5** を基準に上下 4 点の幅で得点を与えられる。

・ 予選ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明する。

Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	79-81
Above Average	76-78
<b>Average</b>	<b>75</b>
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

Standard	Overall
Excellent	41 – 41.5
Good	39.5 – 40.5
Above Average	38 – 39
<b>Average</b>	<b>37.5</b>
Below Average	36 – 37
Poor	34.5 – 35.5
Extremely Poor	33.5 – 34

## 11 その他の注意事項

- ・当日は、顧問の方、もしくは保護者の方がご引率ください。
- ・昼食を持参してください。
- ・本大会では、他のパラメンタリーディベートの大会と同様、論題発表後の準備時間そして試合中にチームのパートナー以外の者と口頭、メモ、その他の電子的な手段で相談をすることを禁じます。
- ・準備時間中、そして試合中には、書籍や、試合用のオンライン接続以外の目的での電子機器（インターネット接続機能を持ったタブレットなど）を情報収集のために用いることはできません。ただし、電子辞書（専用機）は使用可能です。
- ・ディベーターはストップウォッチかタイマーを持参してください。試合中にストップウォッチとして携帯電話を使用することも禁じます。上記のように電子辞書の使用は可能ですが、タブレット型端末(iPadなど)の辞書アプリの利用は禁止します。
- ・スピーチ中のチームメイトにメモ等でコミュニケーションをはかることを禁じます。
- ・試合の撮影は、引率者の方にのみ許可いたします。ただし、他校の生徒を撮影する場合は、必ず本人及び引率者の許可を得てください。
- ・HPDUやESUJの記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDUやESUJのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUやESUJについての説明会や講演で使用することがあります。ご了承ください。
- ・大会の様子は読売新聞が取材し、同社の媒体で紹介される予定です。写真撮影も行いますので、ご了承ください。

## 12 新型コロナウイルス対策に関するお願い

- ・3密回避のため、大会中の連絡用にSNSの使用を考えていますので、チームに最低1台スマートフォンをご用意してください。
- ・各校からの参加は、登録選手3名と引率の方1名のみといたします。その他の見学は基本的に認めません。各教室に入れるのは、選手、引率、ジャッジ、大会運営関係者のみとします。さらに、飛沫感染防止のため、相手チーム、ジャッジとの距離は2m以上離れるように設置いたします。決勝トーナメントはジャッジの数は増えますが、広い部屋を使用し、互いの距離を十分にとって行います。

- ・各自で必ずマスクと消毒用アルコールを持参することを出場条件といたします。マスクは食事の時以外は、必ず着用していただきます。
- ・大会一週間前から当日までの体温と体調を記録するシートを提出していただきます。宿泊される方は各自、体温計をお持ちください。
- ・発熱など体調が良くない時は欠席してください。例年は前日までに連絡し、他の選手と交代するというルールでしたが、コロナの状況によっては、当日欠席も認め、急な代役や2人三役、1人三役も認めることもあり得ます。ただし、引率をつけることは出場条件であり、引率の方の体調が良くない場合は、代わりの方（保護者も可）をお願いいたします。
- ・現時点では食事は提供しない予定ですので、各自でお願いいたします。

### 13 各種教育奨励賞（実施状況により若干の変更の可能性があります。）

- 1) ESUJ 賞：優勝チームを英国で行われる英国ESU主催ディベートキャンプ Debate Academy 2021 へ派遣。2021年8月中旬を予定。出国から帰国までの全行程をESUJが責任をもってアレンジします。
- 2) あずさ監査法人賞：参加者全員にパラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈。
- 3) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈。
- 4) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームにコンサートチケット、または音楽CDを贈呈。
- 5) キヤノン賞：優勝チームにデジタルカメラを贈呈。
- 6) キヤノンマーケティングジャパン賞：準優勝チームにスマホ用ミニフォトプリンターを贈呈。
- 7) アルク賞：決勝トーナメント及びトーナメント2出場選手に書籍を贈呈。

### ※上記の副賞「海外研修」について（コロナ等の状況により実施されない場合があります）

- ・優勝校にはESUJから英国 Debate Academy に生徒3名と引率者1名を派遣する権利が進呈されます。
- ・各研修に参加する生徒の数は3名全員でなく、1～2名でも構いません。
- ・各研修に参加する生徒は同校の生徒で研修を受講する英語力があれば、大会で賞を獲得した選手でなくとも構いません。
- ・権利を獲得した学校は3月31日までに、研修に参加するか、あるいは辞退するかをESUJに連絡してください。参加を表明された学校はすみやかに参加承諾書を提出していただき、4月上旬中にパスポートの取得、現地研修への参加登録などの手続きを行っていただきます。
- ・優勝校が辞退した場合、英国 Debate Academy の権利は準優勝校に移ります。さらに準優勝校が辞退した場合は3位になった2チームのうち3月26日の全国大会予選における総合点が高かった学校に移りません。以下同様に権利が移って行きます。

### 14 HPDU 杯実行委員および役員

理事長 北原隆志（渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭）

事務局長 古賀記洋子（日本大学第一高等学校教諭）

理事 小林良裕（豊島岡女子学園中学高等学校教諭、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程在籍）

前田和（埼玉県立久喜北陽高等学校教諭）

浜野清澄（さいたま市立浦和高等学校教諭）

西崎真広（帝京大学中学校・高等学校教諭）

天海揚介（OBOG 代表）

須田智之（筑波大学附属駒場中・高等学校教諭）

大関朝美（富士見中学校高等学校教諭）

河野周（聖光学院中学・高等学校教諭）

監事 油井直次（元公益財団法人 日本英語検定協会会長）

名誉顧問 明石 康（公益財団法人 国立京都国際会館理事長、一般社団法人 日本英語交流連盟副会長、元国連事務次長）

沼田貞昭（一般社団法人 日本英語交流連盟会長、元駐カナダ大使）

顧問 加藤一郎（千葉大学客員教授、元全農代表理事専務）

新庄一郎（弁護士、元検察庁検事正）

酒井弘行（公認会計士、元KPMG ジャパン日本代表、元あずさ監査法人理事長）

下野雅承（元日本 IBM 社長）

讃井暢子（元一般社団法人 日本経済団体連合会常務理事）

大会主顧問 岡田真樹子（一般社団法人 日本英語交流連盟常務理事、元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授）

大会特別顧問 綾部 功（東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 教授）

中川智皓（大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授）

西日本代表 西山哲郎（静岡聖光学院中学校・高等学校校長補佐）

四国・九州代表 加藤 彰（九州大学 非常勤講師/学術研究者）

チーフコーチ 小野暢思（合同会社 Tokyo Debate Academy 代表）

- ・2014年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017年第20回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝32回、ベストスピーカー賞28回
- ・2015年パラメンタリーディベート世界大会（World Universities Debating Championship）ESL部門 Quarter Finalist、EFL部門 4th Best Speaker
- ・各種セミナーの講師を務める

※なおHPDUの大会は全てボランティアにより運営されています。

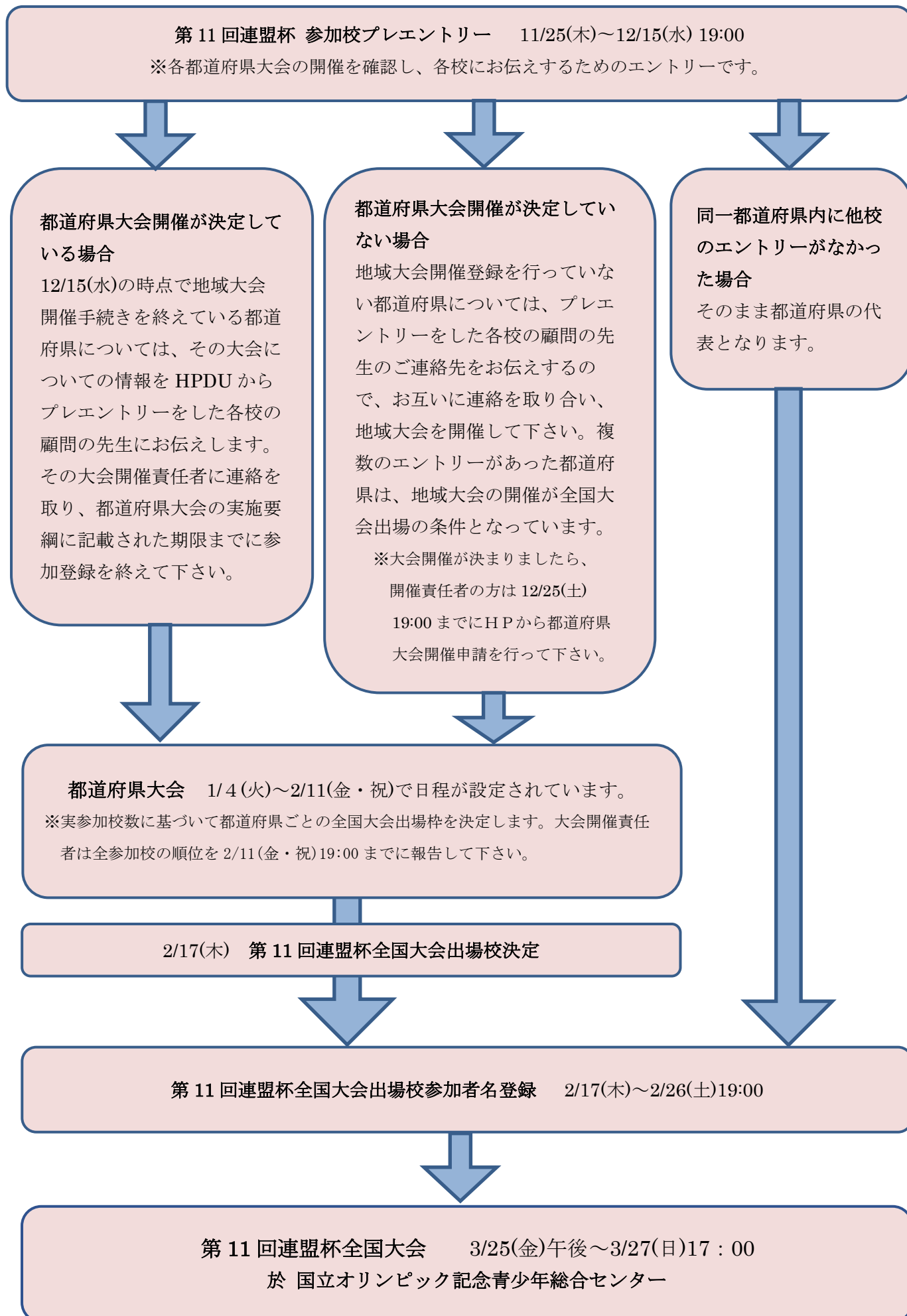
#### ■第11回HPDU杯参加登録についての補足

12月15日（水）19時までに上記の参加登録フォームに必要事項を記入し、プレントリーを行ってください。これは各都道府県開催のためのものですので、この段階では選手登録の必要はありません。都道府県大会開催責任者の方は、これとは別に、12月15日（水）19時までに本連盟のホームページ上の都道府県大会開催申請フォームを入力し、申請を行ってください。

その後、プレントリー校のリストを送ります。その時点で各都道府県大会の開催が決定している県の学校は、各大会の実施要項に記載されている締切日までに申し込んでください。都道府県大会開催の予定がない県については同県内のプレントリー申し込み校同士で連絡を取り合って大会開催の計画を立て、開催責任者になった方は12月25日（土）までに都道府県大会開催の追申請を行ってください。県内の参加校が1校のみの場合は都道府県大会を開催しなくても県代表として全国大会に参加できます。

各都道府県大会は1月4日（火）から2月11日（金・祝）の間で設定されています。各大会の結果を受けて、2月17日（木）に第11回HPDU杯全国大会出場校を発表します。各県の代表校となった学校には、登録フォームをお知らせしますので、2月26日（土）19時までに選手登録を行ってください。

《第 11 回 HPDU 杯参加登録手順》





## 都道府県大会開催スケジュール

～12/15(水) 19:00 都道府県大会開催申請

都道府県大会開催登録フォーム入力。都道府県大会の募集要項をメールでHPDUに提出  
募集要項の大会名は「第11回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 県名(例 東京都)大会」、英語名を「HPDU of 県名(例 Tokyo) Competition 2022」として下さい。

※～12/25(土) 19:00 都道府県大会開催追申請

複数の学校のエントリーがあったにもかかわらず12/15(水)までに都道府県大会開催の申請がなかった都道府県に関しては、プレエントリーをした各校の顧問の先生のご連絡先をお伝えするので、お互いに連絡を取り合い、地域大会を開催して下さい。

HPDUが公式認定

都道府県大会 1/4(火)～2/11(金・祝)

～2/11(金・祝) 19:00 都道府県大会結果報告

フォームで、大会結果をHPDUに報告

※全参加校に必ず順位をつけてください。実参加校数をもとに各都道府県に割り当てる  
枠数を決定します。

2/17(木) 第11回連盟杯全国大会出場校決定校の発表

(各県の登録状況によっては、発表日が延期されることがあります)